

NF 通信

ice arther



Vol.5

column

01

専門家コラム

大妻女子大学 人間関係学部 准教授 田中 俊之さん
(男性学の第一人者として、メディアや講演会等で活躍中)



学生たちと何歳まで「サンタクロースを信じていたか」という話をしました。最年長は高校2年生でしたが、多くは小学校高学年までに「サンタクロースはいない」と気づいたとのこと。親から直接言われた学生もたくさんいました。幼い頃は信じて欲しいのに、小学校高学年ぐらいなってくると空想の存在を信じているのが心配になるのだと思います。でも、もしある程度大きくなってもまだサンタクロースがいるとお子さんが考えているなら、そのままにしてもいいのではないのでしょうか。これから現実を見る力はいくらでも身につきますが、失った想像力を取り戻すのはとても大変なことです。そして、不確実な未来を生き抜く上で必要なのは、現実を見る力よりも想像力なのだと思います。

column

02

NGFリレーコラム

※NGFとは、Nice Grand Father の頭文字です。

1期生 鷺坂 光夫さん 66歳

NGF講座で学んだ自分に合うパーソナルカラーの服を着て、孫が出演するピアノマラソンを聴きに行きました。演奏終了後に孫の成長を喜んで、「じいじ、今日の服かっこいいね」と嬉しい言葉もらえました。自分に合う色を知ることにより自分にも自信が持てるようになりました。次は、料理講座で学んだレシピを孫と一緒に作ろうと思います。いつまでも孫のナイスグランドファーザーでいたいです。



子育てコンシェルジュより

「サンタさんのプレゼント、ボクが頼んだのじゃなかった…。」と〇〇ちゃん。うーん、サンタさんにもいろいろご都合がおりでしょう。サンタさんだって「時期尚早。」と感じたり予算オーバーだったりすることもあるのではないかしら。

「サンタさんは、〇〇ちゃんが好きでね、いつも〇〇ちゃんのこと見てるんだ。このプレゼントの方が、〇〇ちゃんのためになると思ったんだよ。これを大事に使ってくれたら、サンタさんは嬉しいんじゃないかな。」

パパやジイジが気持ちを代弁してくれたら、サンタさんはホッとすることでしょう。

